

「くっ……おお……あ……
やっへえ……ってこれ……え……」

「ら……ぎり……
やっ……ああ……ひびく……」

「レ……レ……レ……
こんなに気持ちいいのか……や……あ……」

「お願い……しま……痛っ!!
や……め……やめ……いきい……あああ……!!」

「お……俺たち「レイヴン」の……
恐ろじさ……じつかり分からせてやる……っ♡」

「剣は人を守るために振るっ?
デケエ口叩いたくせに弱すぎだろ(笑)」

「ひ……ぎっ……ああ……
う……動かなひ……で……ぐっ……ん……ッ……!!」

「も……もう……ヤ……ハ……い……♡
へっ……腹内射撃……イクせえ……♡
っ!!」



「孕めっ俺の赤ちゃん孕め!!!
種付けし●フで孕めオラあああっ!!!」

「赤ちゃん嫌あああああっ!!!」

「ブクッヤ」

「孕め…孕め…
俺の赤ちゃん孕めえ…」

「ひひ…うっ…うっ…」

「な…なあ…オイ」

「ん…ふう…
エステルはどうよ?
こっちは良すぎて…ん?」

「エ…ステルさん…?
う…嘘…まさか…死んで…」

「おまつ…何やってんだよっ!?!」

「首絞めし●フがよっ!
マジで…マジで気持ち良くて…
だから…止まらなくなつて…っ!」

「どいどいすんだよっコレ!」

「どうなつたら沈めるしかねえ…
目と鼻の先にイイ場所あるしな…へへ(笑)」

「沈めるって…マジか…よ…」

「もっ引き返せねえんだよっ!!
あの男とガキも一緒に沈めちまえっ!!
さっさとヤッていっ!」

「お…おっ…」

「首絞めし●フってそんなにヤバいのか?」

「え?…ああ…マジ最高だったけど…」

「だってよくローゼ
俺も試してみるかあ…」



「ぐ……おお……これが首絞めし●フ……♡
ヤハしい……つて……気持ち良すぎだろ……あ……♡」

「お……あ……(じつ)……♡
う……ぐっ……ぐっ……がっ!!!」

「ま●こ締め付け……ヤべえ……♡
ち●ぼ潰れそ……おお……最高お……♡」

「た……ひゅへ……て……♡
だ……誰ひゃ……ああ……♡」

「はあ……はあ……♡」

「お疲れ、誰にも見られてねえよな？
ん？アイツはどうしたよ？」

「吹っ切れたみてえだな
次の女拉致ってくるってさ」

「まんかよ……♡
まあ……こうなったなら……♡
とことんイくしかねえ……よなあ……♡」

「あ……がっ……♡
た……たひゅ……オが……がっ!!!」

「ああ……腰が……勝手に……♡
勝手に動いて……クローゼ……♡」

「お……おお……あっ!!!」

「ふ……ふ……種汁が上がって……♡
よお……しよし……ラストスパ……♡
いくぜえ……♡」



「孕めっ首絞めレ●フで孕めっ!!
俺そつくりの赤ちゃん孕めクローゼえええ!!」

「んおっんオオああああ あ♡♡♡」

ゴクゴク

ゴクゴク

「く...おお...ヤバい♡
射精...射精...止まら...おお♡」

「ん...おお...おお...ああ...ああ♡♡♡」

「ん...ん...ふっ♡
首絞めレ●フ...最高だぜえ♡♡」

「ごっちがいオラっ!!!」

「くっ♡
へ...クローゼ...?」

「ジ...ひゅ...?
助ふえ...殺ひやれ...る...♡」

「これ...
な...何を...して...?」

「何って...首絞めレ●フだけど? (笑)」

「おしっそれじゃ始めるぜ!」

「は...始めるって...?」

「首絞めレ●フに決まってるだろ♡
たっふり可愛がつてやっからなら♡」

「や...やあ...あ...」

「ジひゅ...おっ...あっ♡♡♡」

「次は俺だぜクローゼ♡
うお...お...これが首絞めレ●フ...♡♡」













